

雜 報

◎人 事

- 岡山醫科大學教授 緒 方 益 雄
 陸族高等官一等 (5月1日)
 從四位勳四等 池 上 馨 一
 敍勳三等授瑞寶章 (5月9日)
 岡山醫科大學教授 八木田 九一郎
 年俸金六百六圓加賜 (5月26日)

- 中神 博君 滋賀縣栗太郎郡草津町へ轉居
 ○上村忠雄君 岡山醫科大學精神科教室に於て研究
 中の處今回新潟醫科大學精神科教室に轉勤
 ○近光 正君 岡山縣久米郡大倭村千代へ轉居
 ○藤原高司君 岡山縣和氣郡英保村吉永に轉居
 ○中村善亮君 岡山縣小田郡金浦町金浦病院内へ
 轉勤
 ○小橋 成君 尼崎西本町北通3の96内藤醫院内
 へ轉勤
 ○吉松胤尾君 宮崎縣美々津町へ轉居
 ○山本英吉君 豫て尾道市村上醫院に勤務中なり
 し同君は今回岡山醫科大學石山外科教室に轉勤
 ○板倉 順君 豫て岡山醫科大學解剖學教室に於
 て研究中の處今回静岡市車町16に於て開業
 ○森 弘文君 三重縣四日市本町2丁目へ轉居
 ○宮田貞二君 福山市光南町東部へ轉居
 ○野崎在文君 岡山市船頭町127へ轉居
 ○増原長治君 島根縣出雲町高松へ轉居

◎學位授與

豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求中
 なりし菊池岩雄、塚本守久、井上佐、阿部高知の
 4君は5月21日附を以て同大學より醫學博士の
 學位を授與せられたり其の論文次の如し

菊池岩雄君

主論文

胃全別出術ノ生體ニ及ボス影響ニ關スル研究補
 遺

第1編 胃全別出ノ肝機能ニボス影響ニ就テノ
 實驗的研究

第2編 胃全別出ノ脾機能ニ及ボス影響ニ就テ
 ノ實驗的研究

第3編 胃全別出後ニ於ケル貧血ニ關スル實驗
 的研究

第4編 胃全別出後ニ於ケル肝臟竝ニ脾臟ノ組
 織學的所見

第5編 全編ノ總括

參考論文

其ノ1 甲狀腺腫ヲ伴ヘル所謂定期性四肢麻痺
 症2例ノ手術的治驗

附 「定期性」ヲ「定評性」ト改ムル提
 唱

其ノ2 限局性慢性脊髄膜炎ノ3治驗例ノ追加

其ノ3 劇烈ナル坐骨神經痛ヲ主訴トセル小骨
 盤腔内小圓形細胞肉腫症例

(恒藤ト共著)

其ノ4 早期ニ骨盤轉移ヲ來シ坐骨神經痛ヲ主
 訴トセル腹腔内單純癌ノ1例

(恒藤ト共著)

其ノ5 前斜角筋症候群症例追加

(小野ト共著)

塚本守久君

主論文

「ニオキシヒヨラン」酸及ビ「ニオキシアロヒヨ
 ラン」酸各種異性體ノ合成ニ就テ (獨文)

第1編 「3,7ニケトヒヨラン酸」及ビ「3,6ニケ

トアロヒヨラン」酸ヨリ各2異性「ニオキシ」酸ノ合成

第2編 「3.6ニケトヒヨラン」酸ヨリ4異性「3.6ニオキシヒヨラン」酸ノ合成

第3編 「2.3オキシ6ケトヒヨラン」酸及ビB.3オキシ6ケトヒヨラン」酸ヨリ2異性「3.6ニオキシヒヨラン」酸ノ合成

參考論文

其ノ1 蕨及ビ家兎體內ニ於ケル「3.6ニケトヒヨラン」酸及ビ「2.3オキシ6ケトヒヨラン」酸ノ運命ニ就テ

其ノ2 蕨體內ニ於ケル「3.6ニケトアロヒヨラン」酸及ビ「B.3オキシ6ケトアロヒヨラン」酸ノ運命ニ就テ

其ノ3 蕨及ビ飛蕨ノ膽汁ニ就テ

(片岡穆共著)

其ノ4 放射線療法ニ依ル無尿ニ就テ

井上 佐君

主論文

超短波間腦照射ニ關スル臨牀的竝ニ實驗的研究

第1編 臨牀的研究

第2編 超短波間腦照射ノ家兎子宮運動ニ及ボス影響ニ就テ

第3編 超短波間腦照射ノ家兎下腹靜脈流血量竝ニ腔内温度ニ及ボス影響ニ就テ

第4編 超短波間腦照射ノ性器ニ及ボス形態學的變化ニ就テ

第5編 藥物ニ對スル子宮運動感受性ニ及ボス超短波間腦照射ノ影響ニ就テ

第6編 子宮附屬器炎ニ對スル應用

參考論文

其ノ1 超短波腦下垂體照射ノ家兎肉腫發育ニ及ボス影響ニ就テ

其ノ2 婦人更年期障礙ニ對スル「クリマセダン」ノ效果ニ就テ

其ノ3 尿道性尿失禁ノ治驗例

其ノ4 疼痛發作ノ無カツタ卵管破裂ノ1例

其ノ5 子宮腔上部切斷術後ニ起レル急性充血性肺虚脱ノ1例

其ノ6 肺臟發育異常ヲ伴ヘル先天性假性横隔膜「ヘルニヤ」ノ1例

其ノ7 腹壁破裂ヲ伴ヘル畸形兒ノ2例

其ノ8 分娩損傷トシテノ新産兒頸椎骨折

(湯淺裕ト共著)

阿部 高知君

主論文

Rhodeus lanceolataニ寄生スル吸蟲類被囊幼蟲ノ研究

第1編 Rhodeus lanceolataニ寄生スル吸蟲類被囊幼蟲ノ季節的消長ニ就テ

第2編 Rhodeus lanceolataニ寄生スル吸蟲類被囊幼蟲ノ種類竝ニ其ノ部位別寄生率ニ就テ

◎畑教授在職15周年祝賀記念會

昭和16年5月24日を以て畑教授には在職滿15年に達せられるので、かねてより門下一同集まつて計畫中であつたが、當日は丁度土曜日にあたるので翌25日に記念會を延期した。同教授よりも時節柄故との御申出もあり、一同平服にて極めて簡素に舉行された。

當日は同教授が中心となられ、今日の隆盛を見た中國四國眼科集談會を記念祝賀會として正午より眼科學會の長老たる藤原鐵太郎氏の開會の辭に始まり、岡山は勿論の事、遠く神戸、廣島、高知等より多數の出演者あり、誠に盛會を極めた。最後に畑教授は補習講演として1時間に亙り、眼科手術に就て述べられ、其の熱辯は聴集一同に多大の感銘を與へた。

集談會終了後直ちに備前屋に於て記念晚餐會が催され、門下を代表して松尾博士祝辭を述べ門下

一同心よりの記念品を贈呈すれば畑教授は之に對し感激的な謝辭を述べられ50名の列席者皆教授の徳をたたへ萬歳を三唱し、歡を盡して一夜を過し、盡きぬ名残を惜んで散會した。

◎根岸教授在職10周年祝賀記念式

舉行

昭和16年5月11日(日曜日)午後3時より岡山醫科大學大講堂に於て教授御夫妻をお迎へし來賓、知友及び門下生多數來會して盛大且嚴肅裡に記念式を舉行した。根岸教授が吾岡山醫科大學教授として昭和6年5月12日御赴任、皮膚科泌尿器科開講以來本日を以て早くも滿10周年を迎へるに至つた。門下生一同は此記念す可き佳き日に當り日頃謝恩の微意を表示すべく聊か記念品を贈呈し、且教授將來の御健康と御家族御一統の御多幸を祈り併せて一層の御指導を賜はらんことを祈つた次第であつた。

祝賀記念式模様は一同先づ東方を遙拜し且皇軍に感謝の默禱を捧げ次で開會の辭、記念品贈呈、門下生總代檜垣律夫氏の謝恩の辭、友人總代大森大亮氏の祝辭、來賓總代河合元氏の祝辭、祝電披露等あつて後根岸教授の御挨拶あり來賓山縣是之氏の發聲にて教授御夫妻の萬歳を三唱して記念式を終了した。

式後病院玄關口にて皮膚科教室を背景とし教授御夫妻を圍みて一同記念撮影を行つた。

同日午後5時半よりは備前屋に於て祝賀宴を開催、折柄操山山上に満月昇り初夏の薰風旭川上より吹き來たり一層の風情を添へた。宴開かるるや多數名士の「テーブルスピーチ」あり又宴酣にして醫局員及び來會者等の餘興續々演出され教授御夫妻始め滿場和氣霽々裡に歡談盡きなかつたが名残を惜しみつつ9時半萬歳を齊唱し芽出度散會して本日の祝賀式並に祝賀宴とも無事盛會裡に終了する事が出來た。(橋記)

會 費 領 收 (5月分)

金六圓宛	兼田 三郎	鮫島 宗雄	森 弘文	香川 瀧造	西尾修五郎
伊藤不羈夫	有馬 玄	竹本 勇藏	大野 賢三	九州醫學專門學校 圖書館	
西田 信司	眞鍋 武俊	北川田朗二	小村健太郎	井上 幸藏	安藤 養一
三共株式會社	安井俊二郎	松波 賢吾	西尾 庫三	藏本 常雄	安藤 守之
山崎 磐	眞野 鳴海	眞野 良隆	伊澤 好爲	岡田 正雄	
金壹圓五拾錢宛	小野 英夫	佐野 俊平	岩原 定可		
金參圓宛	畠山 長作	赤木金太郎	杉生 喜三	高龜 良樹	長 壽人
野田 諦俊	横川 定	菅田 直樹	廣瀬 眞治	吉田 豊太	三井 圭造
岡 宏	高杉 早苗	三木 良定	松本 茂人	小池藤太郎	河田 榮一
中川小四郎	鈴木 義人	平本 憲雄	佐藤 春一	重盛福七郎	井口法太郎
平田 吾一	折茂 恒治	石井 義章	吉永 義雄	廣畑 龍造	水野 知文
辰巳 朝春	森下 正一	山本 太郎	武波 晋一	武内武四郎	三宅 良一
辻岡 新作	伊藤 一登	矢野 義徳	關谷 重幸	柚木 唯二	京極 一久
田淵義三郎	人見楠右衛門	細田 富潤	岡村 儀人	安藤 養一	藤田秀太郎
沖津 互	内藤 七郎	中九市兵衛	勝呂 學	清水 多榮	稻田 進
好本 節	林 道倫	鈴木 稔	八木田九一郎	生沼 曹六	津田 誠次
畑 文平	緒方 益雄	遠藤 中節	根岸 博	田部 浩	奥島賢一郎
石山福二郎	北山加一郎	八木日出雄	小田 大吉	濱崎 幸雄	金津 晴亮
池上 馨一	關 正次	武田 俊光	筒井 徳光	林 香苗	中井 良平
清水 勝	大田原一祥	黒田 章夫	難波 駿逸	上村 良一	玉川 忠太
和田 直	橋本 清	伊藤己西三	稻岡 温	井阪 英雄	松本 朝夫
小阪 壽	板倉 順	谷 耕一	戸部 一郎	山中 英	人見 一夫
松本 増夫	大賀 壽雄	根鈴 齊史	額田須賀夫	中川 美雄	藤山 省吾
石川 博	井上 佐	中村眞太郎	門野 義富	栗林 太郎	矢野 俊男

金參圓宛	上村 忠雄	三好 幸三	伊崎 宣行	石原 貫一	上田 知二
荻原 武雄	小倉 道郎	岡崎 遜也	岡崎 泰祐	大川 富雄	上田 要一
甲斐 太郎	數野 太郎	壹田 實成	吉良 良吉	菊池 岩雄	例田 孝一
下司 孝磨	高阪 英五郎	實成 二郎	須賀 清次郎	高橋 篤郎	高原 章夫
高見 孝志	橋 英基	中野 文郎	中島 節夫	福原 敏夫	古市 正典
守屋 誠	山下 滿	山根 一雄	山川 斌	油原 憲一郎	吉野 啓三
和田 雅之	市村 丑雄	伊藤 慎一	和田 直	五島 洋	六車 清茂
入江 恒久	上田 賢	岡 順二	小西 例一	笠井 隆吉	宮地 稻吉
渡邊 常藏	西丸 和義				
金拾貳圓宛	門馬 顯義	三島 武男			
金拾八圓	山口 節郎				
金參圓五拾錢宛	奥島 芳夫	北村 征男	井手 守義	勝山 英昌	桑原 玄
山田 一良	篠原 清彦				
金九圓宛	古田 壽次	末永 邦忠			
金九圓五拾錢宛	西村 一郎	山田 圭子			
金八圓	中神 博				
金拾四圓貳拾五錢	志熊 常也				
金七圓	日下 連				
金四圓宛	奥田 觀士	渡邊 武	北村 直次	津田 次郎	西原 一二
金拾參圓	砂田 輝武				
金拾九圓	小橋 成				
金五圓宛	井上 覺永	小橋 富兄	木口 浩三	田中 四郎	谷 幹彦
米田 貢					
金拾四圓	阿部 高知				
金五拾錢	高原 啓二				
金貳圓五拾錢宛	田村 勇進	永瀬 眞吾	永田 正	根木 佑一	廣渡 敬也
水河 忠敬	山上 正				
金五圓七拾五錢	近光 正				
金貳拾五圓	間野 忠衛				
金貳拾壹圓	兒子 廉夫				
金壹圓宛	柴田 八郎	友澤 昇	三船 歎一	村山 午朔	淺羽 武一
金貳圓宛	片木 富士郎	赤松 金四郎	荒田 一郎	朝川 尚	伊原 重彦
赤澤 乾一	麻植 巨一	淺野 靜男	赤枝 裕	石田 基男	宇野 善一
石本 義憲	岩佐 誠一	江原 敏夫	入山 昌平	伊藤 誠爾	岡崎 武昌
上塚 万壽男	遠藤 藤	江原 敏夫	岡崎 卓一	大橋 要人	大谷 清
岡 元一	太田 德次郎	大森 大亮	岡 孝男	大迫 哲郎	如賀 吳一
岡本 繁	小倉 忠郎	浮田 實三	阿部 忠景	龜井 俊夫	掛谷 幸雄
梶谷 尙	河田 豐章	河田 豐	金谷 木本	笠井 直幹	木戸 紳
片岡 穆	河野 實	喜多 島慎一	小林 孫兵衛	喜多村 練三	須賀 廣太
熊井 孝三	栗山 秀征	黑山 眞吾	進藤 斧吉	谷口 日出夫	田中 貞夫
佐藤 政夫	齋藤 治	杉山 五郎	關場 代五郎	瀧澤 敏正	武市 重雄
陶守 三思郎	菅 忠芳	田川 輝太郎	武野 一雄	津田 順一	辻 鹿子治
武田 縫次	高田 弘	高原 劍二郎	津田 稔	土居 清	中西 正男
玉尾 延忠	伊達 久彦	友次 誠三	友保 敏也	野村 實三	野村 太郎
津田 翔義	寺尾 清志	那須 毅	西村 耕一	久本 實三	平田 鐵太郎
永瀬 博之	原 勝巳	平松 直	廣瀬 隆彦	藤原 元	藤原 半三郎
中島 正夫	平松 義忠	東島 辰雄	深瀬 尙文	松香 孝章	宮本 祥郎
平井 皓	福武 豐治	藤田 芳雄	福原 尙文	松本 義雄	山尾 圓一
藤原 鼎	松尾 義維	松村 克郎	松尾 稔	安本 和多里	米澤 末次
前川 利三郎	森正 久	森脇 了三	山村 千東		
光田 万平	山本 周	矢部 正雄			
山口 直明	數波 重次郎				

岡 山 醫 學 會